



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久光 正郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長

(氏名) 井藤 直樹

TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	75,898	△2.5	1,510	136.7	1,639	179.8	1,213	193.9
27年3月期第2四半期	77,824	4.8	637	△18.3	585	△37.6	412	△32.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 339百万円 (△59.8%) 27年3月期第2四半期 844百万円 (5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	44.12	—
27年3月期第2四半期	15.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	67,688	42,426	62.6
27年3月期	65,408	38,225	58.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 42,400百万円 27年3月期 38,204百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00	
28年3月期	—	9.00	—	—	—	
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	10.3	3,100	7.4	3,200	6.4	2,200	36.2	76.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 平成28年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、第三者割当増資分(3,836,400株)を含めた予定期中平均発行株式数により、算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	30,371,908 株	27年3月期	26,535,508 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	120,172 株	27年3月期	148,471 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	27,498,402 株	27年3月期2Q	26,324,999 株
----------	--------------	----------	--------------

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(28年3月期2Q66,900株、27年3月期95,800株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善など景気の持ち直しが進んでおりますが、中国経済の減速による世界同時株安が進行するなど、引き続き景気の先行きに懸念が残る状況にあります。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、主産地の米国産に加え南米産も豊作の見込みとなり、安値傾向で推移しておりました。しかしながら、6 月中旬以降、米国の多雨による作柄低下傾向から急騰した後、天候回復から値を下げるなど、振れ幅が大きく推移しました。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を 2 度値下げしました。値下げの影響とメーカー間の競争激化により、厳しい事業環境が続いております。また、T P P 交渉が大きく進展し、当業界に大きな影響を与えると予想されます。

このような状況のなか、当社は顧客の利益に貢献する差別化飼料の拡販や製販一体の強みを活かした提案営業の推進などで売上拡大を図る一方、原料の有効利用によるコストダウン等で原価を低減するなど、業績の向上に努めてまいりました。また、経営体質をより強固にすること及び差別化飼料の製造をより一層強化して競争力を高めることを目的に、7 月 31 日に 2 つの資本業務提携を個別に締結しました。1 つは、伊藤忠商事株式会社及び伊藤忠飼料株式会社との提携で、その内容は、10 月 1 日付で伊藤忠飼料株式会社から分社化された飼料製造会社（みらい飼料株式会社）に当社が 51% を出資し、運営することです。みらい飼料株式会社への出資金及び貸付金に充当するために、伊藤忠商事株式会社及び伊藤忠飼料株式会社を含む伊藤忠グループ 3 社を引受先とする第三者割当増資を行いました。もう 1 つは日本ハム株式会社との提携で、その内容は、従来からの飼料を中心とした相当量の取引関係をより一層強固なものにし、更に発展させるために、相互に資本参加することです。当社は、日本ハム株式会社の株式を取得するために、同社を含む日本ハムグループ 3 社を引受先とする第三者割当増資を行いました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高 758 億 98 百万円（前年同四半期比 2.5% 減）、営業利益 15 億 10 百万円（前年同四半期比 136.7% 増）、経常利益 16 億 39 百万円（前年同四半期比 179.8% 増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 12 億 13 百万円（前年同四半期比 193.9% 増）となりました。また、第三者割当増資を行ったことにより、資本金、資本剰余金がそれぞれ 20 億 40 百万円増加しました。

売上高は、畜産物や畜産機器の売上高が増加したものの、飼料の売上高が前年同四半期を下回ったことなどにより、2.5% の減収となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益率の上昇などにより、136.7% の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業外収益に貸倒引当金戻入額を計上したことや前期に営業外費用に計上した貸倒引当金繰入額がなくなったことなどにより、193.9% の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (飼料)

売上高は、販売量が前年同四半期を上回ったものの、値下げの影響で平均販売価格が低下したことにより、前年同四半期比 4.2% 減の 624 億 45 百万円となりました。セグメント利益は、差別化飼料の拡販、原料ポジションの改善による売上総利益率の上昇や販売量増加などにより、前年同四半期比 244.8% 増の 14 億 15 百万円となりました。

## (コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、畜産物、ペットフードともに増加したことにより、前年同四半期比 5.8% 増の 98 億 78 百万円となりました。セグメント利益は、増収効果と経費削減による利益率向上などにより、前年同四半期比 145.4% 増の 1 億 46 百万円となりました。

## (その他)

売上高は、前年同四半期比 8.4% 増の 35 億 74 百万円、セグメント利益は、前年同四半期比 87.7% 増の 1 億 81 百万円となりました。増収増益となった主な理由は、畜産用機器の販売台数と有機肥料の販売量が増加したためであります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 22 億 80 百万円増加の 676 億 88 百万円となりました。流動資産は 410 億 93 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 8 億 13 百万円増加しました。これは主にその他の流動資産が 11 億 71 百万円減少したものの、現金及び預金が 22 億 57 百万円増加したことによるものであります。固定資産は 265 億 95 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 14 億 67 百万円増加しました。これは主に無形固定資産が 2 億 37 百万円減少したものの、有形固定資産が 4 億 47 百万円、投資有価証券が 12 億 21 百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第 2 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ 19 億 20 百万円減少の 252 億 62 百万円となりました。流動負債は 200 億 83 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 19 億 91 百万円減少しました。これは主に短期借入金（1 年内返済予定の長期借入金を含む）が 13 億 86 百万円、その他の流動負債が 5 億円減少したことによるもので

あります。固定負債は51億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加しました。これは主に長期借入金  
が98百万円減少したものの、その他の固定負債が1億63百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ42億1百万円増加の424億26百万円とな  
りました。これは主にその他有価証券評価差額金が4億7百万円、繰延ヘッジ損益が4億94百万円減少したものの、  
資本金、資本剰余金がそれぞれ20億40百万円、利益剰余金が9億75百万円増加したことによるものであります。純資  
産の増加が総資産の増加を上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.2ポイント増加の62.6%とな  
りました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、34億10百万円となりました。  
当第2四半期連結累計期間における資金の増加は22億57百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は28億94百万円(前年同四半期は12億15百万円の資金使用)となりました。主な資金  
獲得の要因は税金等調整前四半期純利益16億32百万円、減価償却費11億76百万円及びたな卸資産の減少2億15百万  
円の計上であります。一方、主な資金使用の要因は法人税等の支払額4億46百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は29億91百万円(前年同四半期比21億58百万円増加)となりました。これは主に有価  
証券の取得による支出18億19百万円、固定資産の取得による支出14億13百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は23億53百万円(前年同四半期比4億26百万円増加)となりました。主な資金の増加  
要因は株式の発行による収入40億52百万円であります。一方、主な資金の減少要因は借入金の減少が純額で14億85百  
万円、配当金の支払額2億37百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表しました平成28年3月期の業績予想につきましては、本資料において修正しております。  
その詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」とい  
う。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」と  
いう。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計  
基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分  
変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上す  
る方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な  
会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表  
に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持  
分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会  
計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業  
分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過措置に従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将  
来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成27年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,163	3,420
受取手形及び売掛金	27,684	27,790
商品及び製品	2,226	2,171
仕掛品	659	564
原材料及び貯蔵品	5,733	5,668
その他	3,150	1,979
貸倒引当金	△338	△502
流動資産合計	40,279	41,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,216	6,090
機械装置及び運搬具 (純額)	5,240	5,169
工具、器具及び備品 (純額)	601	620
土地	7,173	7,173
リース資産 (純額)	20	18
建設仮勘定	176	802
有形固定資産合計	19,428	19,876
無形固定資産	619	382
投資その他の資産		
投資有価証券	4,207	5,429
長期貸付金	315	230
退職給付に係る資産	82	76
その他	1,364	919
貸倒引当金	△888	△317
投資その他の資産合計	5,080	6,337
固定資産合計	25,128	26,595
資産合計	65,408	67,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成27年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,344	10,327
短期借入金	6,015	4,509
1年内返済予定の長期借入金	2,155	2,274
未払法人税等	441	348
賞与引当金	457	498
役員賞与引当金	36	—
その他	2,624	2,124
流動負債合計	22,075	20,083
固定負債		
長期借入金	2,943	2,844
債務保証損失引当金	45	35
退職給付に係る負債	490	506
資産除去債務	84	84
その他	1,544	1,707
固定負債合計	5,107	5,178
負債合計	27,182	25,262
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,695	4,736
資本剰余金	2,353	4,394
利益剰余金	31,145	32,120
自己株式	△92	△75
株主資本合計	36,101	41,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	1,335
繰延ヘッジ損益	451	△43
為替換算調整勘定	15	18
退職給付に係る調整累計額	△106	△86
その他の包括利益累計額合計	2,102	1,224
非支配株主持分	21	26
純資産合計	38,225	42,426
負債純資産合計	65,408	67,688

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	77,824	75,898
売上原価	71,037	68,078
売上総利益	6,787	7,819
販売費及び一般管理費	6,149	6,309
営業利益	637	1,510
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	68	69
持分法による投資利益	—	2
貸倒引当金戻入額	—	30
債務保証損失引当金戻入額	2	10
保管料収入	91	91
その他	78	63
営業外収益合計	245	272
営業外費用		
支払利息	42	27
持分法による投資損失	8	—
貸倒引当金繰入額	154	—
保管料原価	85	85
株式交付費	—	29
その他	6	0
営業外費用合計	298	143
経常利益	585	1,639
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	15	7
投資有価証券評価損	5	—
ゴルフ会員権評価損	0	0
特別損失合計	20	7
税金等調整前四半期純利益	567	1,632
法人税、住民税及び事業税	268	340
法人税等調整額	△120	74
法人税等合計	147	415
四半期純利益	420	1,217
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	1,213

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
四半期純利益	420	1,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249	△407
繰延ヘッジ損益	179	△494
為替換算調整勘定	△1	0
退職給付に係る調整額	1	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	3
その他の包括利益合計	424	△878
四半期包括利益	844	339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	837	334
非支配株主に係る四半期包括利益	6	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	567	1,632
減価償却費	1,220	1,176
持分法による投資損益(△は益)	8	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	85	41
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	△36
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	3	28
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35	21
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△2	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	219	103
株式交付費	—	29
受取利息及び受取配当金	△73	△73
支払利息	42	27
為替差損益(△は益)	△2	0
投資有価証券評価損益(△は益)	5	—
ゴルフ会員権評価損	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	13	6
売上債権の増減額(△は増加)	△437	△121
たな卸資産の増減額(△は増加)	△276	215
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,283	194
その他	312	58
小計	△603	3,293
利息及び配当金の受取額	75	75
利息の支払額	△47	△28
法人税等の支払額	△640	△446
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,215	2,894
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付金の回収による収入	76	231
有価証券の取得による支出	△12	△1,819
有価証券の売却による収入	0	—
固定資産の取得による支出	△840	△1,413
固定資産の売却による収入	9	10
関係会社出資金の払込による支出	△73	—
その他の支出	△0	△8
その他の収入	7	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833	△2,991

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600	△1,505
リース債務の返済による支出	△2	△1
長期借入れによる収入	600	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,035	△1,280
株式の発行による収入	—	4,052
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	27	26
配当金の支払額	△263	△237
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,927	2,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△122	2,257
現金及び現金同等物の期首残高	1,187	1,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,065	3,410

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月21日付で、第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が20億40百万円、資本剰余金が20億40百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が47億36百万円、資本剰余金が43億94百万円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	65,193	9,333	74,526	3,298	77,824	—	77,824
セグメント間の 内部売上高又は振替高	405	0	405	21	427	△427	—
計	65,598	9,333	74,931	3,319	78,251	△427	77,824
セグメント利益	410	59	470	96	566	0	567

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△494百万円、金融収支511百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,445	9,878	72,323	3,574	75,898	—	75,898
セグメント間の 内部売上高又は振替高	338	0	339	22	361	△361	—
計	62,784	9,878	72,662	3,597	76,260	△361	75,898
セグメント利益	1,415	146	1,562	181	1,743	△111	1,632

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△587百万円、金融収支472百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

(重要な後発事項)

重要な子会社の異動

当社は、伊藤忠商事株式会社及び伊藤忠飼料株式会社との資本業務提携を行い、かかる提携の具体的内容として、伊藤忠飼料株式会社からの株式譲受により合弁会社（子会社）を取得しております。

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| (1) 名称       | みらい飼料株式会社          |
| (2) 事業内容     | 配合飼料の製造            |
| (3) 資本金      | 100百万円             |
| (4) 株式取得日    | 平成27年10月 1 日       |
| (5) 取得株式数    | 1,020株             |
| (6) 取得価額     | 604,860,000円       |
| (7) 取得後の持株比率 | 当社51%、伊藤忠飼料株式会社49% |